

第 6 回がん研若手コロキウム開催報告

令和 6 年 7 月 24 日、若手育成の一環として「第 6 回がん研若手コロキウム」を開催いたしました。本会は学生とポスドクを主役とした研究発表会であり、若手研究者の口頭発表および質疑応答のスキル向上を目的としています。本会の特徴として、学生・ポスドクに質問の優先権を与え、Best Discusser 賞を設けるなど、若手研究者が積極的に質疑応答に参加できる環境を作っています。今年も学生・ポスドクからレベルの高い研究が発表され、白熱した議論がみられました。（発表者 8 名、参加者 61 名）

Best Presenter 賞には Zixue Zhang（張子雪）さん、Best Discusser 賞には Renata Akhmetzianova さんと Zianne Ibrahim Anis さんが選ばれました。

【Best Presenter 賞】

Name : Zixue Zhang

Affiliation : Division of Cancer and Senescence

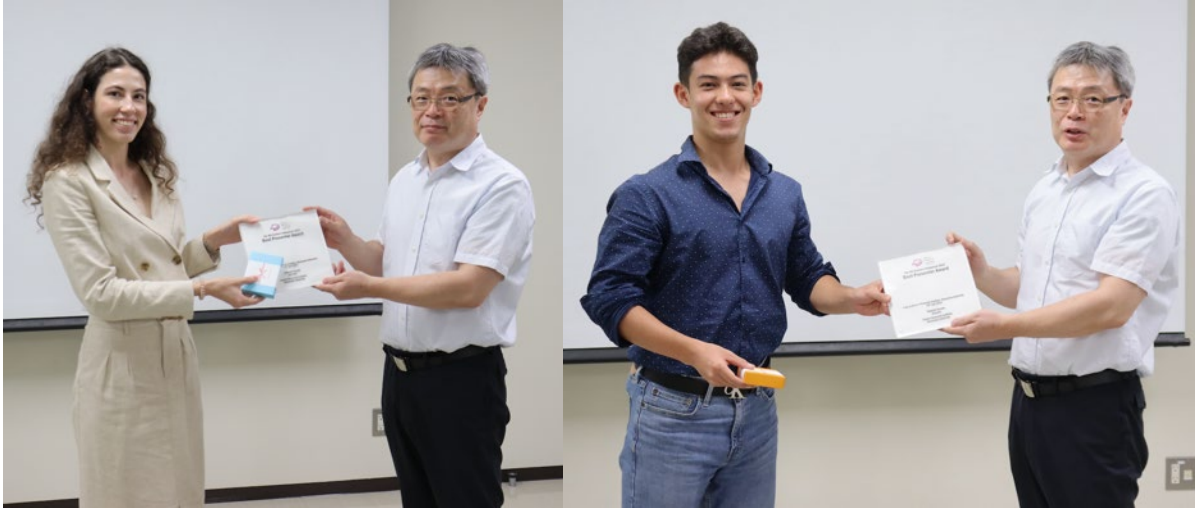
Title : Transiently senescent hepatocytes exhibit tissue repair-promoting dynamics in response to acute liver injury.



【Best Discusser 賞】

Name: Renata Akhmetzianova
Affiliation: Division of Oncology and Molecular Biology

Name: Zianne Ibrahim Anis
Affiliation: Division of Tumor Cell Biology and Bioimaging



プログラム

Session 1 (Chair: Kojiro Ishibashi)

13:10 - 13:30 Hai Yu
13:30 - 13:50 Huazi Zhang
13:50 - 14:10 Yuanyuan Zhang

Session 2 (Chair: Akihiko Ishimura)

14:30 - 14:50 Yongwei Jing
14:50 - 15:10 Renata Akhmetziaonova
15:10 - 15:30 Ryusuke Suzuki

Session 3 (Chair: Kohsuke Tsuchiya)

15:50 - 16:10 Zixue Zhang
16:10 - 16:30 Peifu Yu

16:30 - 16:40 Closing remarks
16:40 - 16:50 Awards ceremony

発表者のみなさん



質疑応答の様子



コロキウムを終えて

今年も所内の夏の恒例行事である「がん研若手コロキウム」が開催されました。今回で6回目となり、運営も安定してきた感があります。本会は若手育成を目的とした研究発表会ですが、毎回多くの若手研究者の皆さんに参加していただいております。おそらく所内のほぼ全ての学生・ポスドクが参加してくれているのではないかと思います。

実験などで忙しいと思いますが、本会のために予定を空けてくれるのはありがたい限りです。本会で活躍して各賞を受賞することが若手の一つの目標になってくれたら幸いです。今回も若手研究者の活発な討論が繰り広げられ、非常に有意義な場となりました。所内には多様な研究分野があるため、各発表に対して多様な視点からの質問や意見が寄せられます。このような経験は、各自の研究を深める上で大きな助けとなり、また、若手同士の交流につながることを期待されます。今後も若手研究者が活発に研究発表・討論に参加できる環境を提供することで、研究の質を向上させるとともに、若手のコミュニティの発展に寄与していければ幸いです。

今回から Best Presenter 賞および Best Discusser 賞の選考方法に変更を加えました。これまでは全員が投票し、学生・ポスドクと教員の1票は同じ扱いでした。今回、学生・ポスドクの投票方法は前回までと同様に1票1点とし、加えて各研究分野の代表者（教員）に1票5点で投票していただき、合計点で受賞者を決定いたしました。これにより学生・ポスドクの総持ち点と研究分野代表者の総持ち点がほぼ同じになり、教員側の意向が選考結果に反映されやすくなりました。学生・ポスドクと教員側の投票の傾向には明らかな違いがありましたので、よりバランスが良く質の高い選考になったのではないかと考えております。審査に際して各研究分野の代表者の皆様には貴重なお時間を割いていただきました。ご協力に心より感謝を申し上げます。

今回も研究協力系の皆様のご協力のおかげで、本会を無事に盛会のうちに開催することができました。鈴木所長には閉会のお言葉と所感をいただき、さらに受賞者への賞品をご提供いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、座長を務めてくださった石橋助教、石村助教に感謝申し上げます。すべての参加者の皆様、本当にありがとうございました。

がん進展制御研究所・PI/准教授
土屋晃介